

# 青刈りとうもろこし



需要者一覧  
(令和6年  
12月時点)

飼料生産基盤に立脚した経営を目指し、畜産農家は品質の良い国産飼料を求めています。皆さん、土づくりや連作障害の低減による後作の品質向上・収量増加につながり、工夫次第で経営全体の収益や効率化に寄与できる青刈りとうもろこしを作付けしませんか。

## 概要

- ◆ 畜産農家のニーズが非常に高い粗飼料です！
- ◆ 飼料用とうもろこし(テントコーン)を完熟前の黄熟期に収穫します。
- ◆ 茎、葉、実の全てを細断してロール状にしたものをラッピングし、乳酸発酵をさせます。
- ◆ 乳酸発酵が完了したものをサイレージと呼び、飼料分析後に牛へ給与します。



播種



青刈りとうもろこし  
(黄熟期)



収穫・ロール成形



ラッピング



保管  
(1~2ヵ月乳酸発酵)

## メリット

- ◆ 労働生産性が高く、他作物との作業分散や空いたほ場の有効活用が可能です。
- ◆ 根が深く張るためほ場の物理性の改善、連作障害防止に寄与します。
- ◆ 一定の収入(例:6~7ロール収穫/10a(500kg/ロール) → 5.4~6.3万円/10a(水田関係の助成を除く))や堆肥の供給元の確保が期待できます。

## 栽培のポイント

- ◆ 湿害に弱いため、明渠・暗渠によるほ場の排水対策をしっかりと行います。
- ◆ 地際近くで刈り取ると収穫物に土砂が混入し、そのエサを食べた牛が体調を崩します。土砂が混入しないように高め(10cm以上)に刈り取ります。

### <青刈りとうもろこしの栽培暦>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
栽培期間 (早生)	→								
作業	◆ 播種 ◆				◆ 収穫 ◆				

生産販売または作業受託を行う場合



こんな **支援** が活用できます!!

**Q** 青刈りとうもろこしを生産するにはどんな機械が必要なの？

**A** 播種や収穫の機械のほか、収穫物を梱包する機械、  
ロールを移動させる機械などが必要です。

### 飼料生産組織の規模拡大等に対する支援 (令和6年度補正)

- ・収穫機
  - ・ラッピングマシーン
  - ・ロールグラブ
- などの作業機械の導入を支援します。

耕種農家も  
使えます!

**Q** 安定した国産飼料の生産販売、作業受託を考えていきたい。

**A** 飼料生産組織が、5年以上の長期契約を結び飼料  
(飼料用米を除く)の生産販売、作業受託の規模拡大  
を行う取組を支援します(拡大分面積払)。

### 安定的な国産飼料の供給に対する支援 (令和6年度補正)

【交付対象】 1年目 12,000円/10a以内  
2年目 5,000円/10a以内

耕種農家も  
使えます!

問い合わせ先

関東農政局 生産部 畜産課

048-740-0027